

第45回 国際福祉機器展 H.C.R. 2018 報告

1 | オープニングセレモニー

多くの来場者や後援・協賛団体の関係者などが集まるなか、全国社会福協議会 斎藤十朗会長の開会宣言により、第45回国際福祉機器展 H.C.R. 2018が幕を開けました。開場前に催された『くす玉オープン』は、斎藤会長、H.C.R.海外コーディネーターのベン・アポロ・ラスムセン氏〔欧州担当〕、トム・ボーチャディング氏〔北米担当〕、高井康行本会理事長などによって執り行われました。

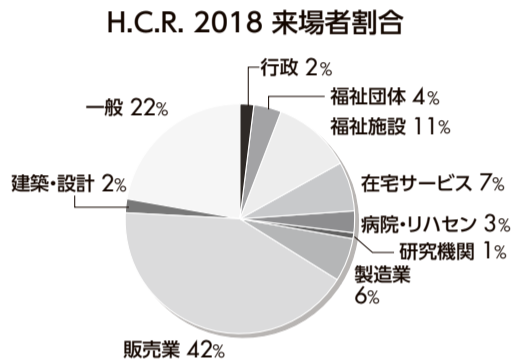
日時	10月10日(水) 9:50~
会場	東2ホール前



斎藤 十朗 会長

2 | 来場者数・来場者割合

来場者数は、会期3日間で、延べ119,452人にのぼり、来場者の割合では、例年以上に販売業関係者が42%と最も多くご来場し、次いで一般の方が22%という割合となりました。続いて福祉施設の11%、在宅サービス7%、製造業6%という順となりました。



3 | 出展社数

● 国別出展社数

出展社数は、国内から462社・団体（うち、新規出展は65社・団体）、海外からは13か国・1地域より84社・団体（うち、新規出展は22社・団体）が出展し、特に、デンマークやアメリカの他、中国や台湾などアジア圏から多くの出展がありました。

国名	社数
アメリカ	10
イギリス	6
イタリア	5
オーストラリア	1
オランダ	2
カナダ	3
韓国	4
スウェーデン	4
台湾	17
中国	12
デンマーク	11
ドイツ	6
日本	462
フィンランド	1
フランス	2

※国名 50 音順

● 製品別出展社数

H.C.R. 2018では、過去最大の展示面積に下記一覧の製品が多数展示されました。複数の製品を展示する出展社も多く、展示製品別で見たときの出展社数の総計は1,350社を超えています。

【製品別出展社数一覧】

移動機器（車いす等）		ベッド用品（その他）	20
手動車いす	61	入浴用品	
車いす関連用品	77	浴槽	25
電動車いす	48	入浴用チェア	31
電動三輪・四輪車	6	滑り止め用品	14
自転車	4	浴槽台	7
介助車	13	入浴用リフト	13
移動機器（杖、歩行器等）		入浴用品（その他）	15
歩行器、歩行補助車	49	トイレ・おむつ用品	
杖	35	ポータブルトイレ	20
移動機器（リフト等）		便器・便座	8
ストレッチャー等移動器具	13	防臭剤、消毒剤	5
移乗補助機器	30	トイレ関連用品	22
床走行リフト	27	おむつ関連用品	6
固定式・据置式リフト	19	自動排泄処理装置	11
介助・歩行補助ロボット	13	移動機器（リフト等）	
福祉車両、関連機器		ストレッチャー等移動器具	13
障害者用自動車運転装置	12	移乗補助機器	30
車いす等福祉車両	17	床走行リフト	27
入浴用特殊車両	4	固定式・据置式リフト	19
福祉施設等業務用自動車・エコカー	6	介助・歩行補助ロボット	13
ベッド用品		福祉車両、関連機器	12
ベッド	21	障害者用自動車運転装置	12
マットレス、床ずれ防止製品	42	車いす等福祉車両	17
サイドテーブル	8	入浴用特殊車両	4
介護用シーツ	11	福祉施設等業務用自動車・エコカー	6
		ベッド用品	
		ベッド	21
		マットレス、床ずれ防止製品	42
		サイドテーブル	8
		介護用シーツ	11

拡大読書器	3
活字文書読上げ装置	1
福祉電話、FAX、携帯会話補助器	4
視覚障害者用誘導システム	2
コミュニケーション関連ロボット	10
コミュニケーション・見守り機器（その他）	31
建築・住宅設備	
スロープ	22
手すり	32
エレベーター	4
段差解消機	10
階段昇降機	9
建築・住宅設備（その他）	17
リハビリ・介護予防機器	
歩行等訓練機器	36
リハビリ用教材・機器	41
筋力トレーニング機器、身体機能訓練機器	38
口腔ケア用品	12
義肢、装具	
義肢、装具	14
日常生活支援用品	
自助具	18
障害者スポーツ・レクリエーション用品	12
介護関連用品	33
日常生活支援用品（その他）	27

介護等食品、調理器具	
食事用品、食器	12
キッチン	5
調理器	6
高齢者・障害者向け食品	5
福祉施設環境設備・用品	
施設建築、施設用床材・壁材	4
洗濯機、乾燥機、掃除機、脱臭機	8
いす、座位保持・立ち上がり補助用品	15
家具、テーブル、洗面台	12
火災報知設備、自動消火設備	1
防災・避難用品	7
介護職員用衣類	9
福祉施設環境設備・用品（その他）	14
感染症等予防用品	
空気清浄機、加湿器、消毒器	10
感染症等予防用品（その他）	14
在宅・施設サービス経営情報システム	
福祉事業関係コンピュータシステム	36
出版、福祉機器情報	
福祉・介護・リハビリ・保健関係書籍・教材、情報誌、新聞、放送通信、福祉機器関連webサイト	28
製品別出展社数計	1357

● 感謝状贈呈式

出展社の中から、H.C.R. 2018で15回目の出展を迎える下記12社（うち、2社は贈呈式欠席）を、会期初日の10月10日（水）に、東2ホール前にお招きして感謝状と記念品を贈呈しました。

15回目の出展を迎えられた出展社

- 株式会社イツミ
 - 株式会社キャロッツシステム
 - 九セラ株式会社
 - 株式会社総合サービス
 - 株式会社タマツ
 - 独立行政法人労働者健康安全機構 総合せき損センター
 - 株式会社ニホン・ミック
 - ハイウィン株式会社
 - 羽立工業株式会社
 - 有限会社ハニーインターナショナル
 - パンテラ・ジャパン株式会社
 - ユニットレンド株式会社
- ※社名50音順

4 | 国際シンポジウム

「仕事と育児・介護の両立支援」をテーマに有益な議論が飛び交う充実した場となりました！

H.C.R.では、毎年、わが国と海外に共通した福祉・介護分野の課題について、諸外国から招いた専門家による報告を基にした「国際シンポジウム」を開催しています。

2018年は、「仕事と育児・介護の両立支援～その現状と対策～」をテーマに開催し、国を挙げて両立支援のための先駆的な施策を展開するスウェーデンの現状と課題の報告、また日本の現状についての議論が繰り広げられました。

特にスウェーデンは、育児支援において、自治体に対し1～12歳の子どもを持つ親すべてに育児サービスの提供を義務化し、0～6歳児を持つ母親の雇用率は80%を超えます。さらに、父親の育児休暇促進策として、休業前賃金の約80%が支払われる日数の一部をパートナーへの譲渡ができない「父の月」と定めており、男性の育児休業は2017年には45%まで上昇しています。

一方、介護支援においては、自治体が行うサービスを高齢者本人のみならず、その家族や親族をも対象とし、さらには経済補償として雇用・介護手当などが設けられています。

本シンポジウムで説明のあったこれらの内容を含め、200人を超える参加者とともに、今後わが国がめざすべき両立支援策の視点などについて考察した内容を報告書にまとめ、本年2月に刊行する予定です。

日時	10月11日(木) 13:00~16:00
会場	特設会場G1(東8ホール内)
シンポジスト	スウェーデン/アニタ・ニーベルグ氏 ストックホルム大学 名誉教授 日本/池田 心豪氏 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 主任研究員
チューター	塚田 典子氏 日本大学 商学部 教授、一般財団法人 保健福祉広報協会 理事



アニタ・ニーベルグ氏



池田 心豪 氏